



夢へのかけはし

大きな成長と新たな可能性への挑戦



【答辞】 本当にあっという間の三年間でした。時に厳しく、時に優しく私たちを支えてくださった先生方。最後まで私たちの成長を信じ、寄り添ってくださりありがとうございました。1年生2年生の皆さん、皆さんの支えがあったから先輩として、ここまで全力で走り切ることができました。自分の思いを伝え、認め合える山鹿中学校であってほしいと思います。今を大切に仲間を大切に過ごしてください。今日ともに卒業する仲間へ。教室も体育館も校庭も全部みんなとの思い出にあふれています。この素晴らしい学び舎で過ごした日々の全てが宝物です。卒業しても私たちはずっと仲間です。自信を持って自分の人生を精一杯生きていきます。

戦に果敢に立ち向かい、自分への挑戦を楽しんでほしいと願っています。3年生への感謝の気持ちを込めて卒業式の準備を頑張ってきた1年生、2年生にバトンが渡されました。新たな山鹿中学校を創り上げるために、今、やれること、やるべきことを全力で懸命に頑張ってくれると期待が膨らんでいます。保護者の皆様をはじめ、多数の関係者の皆様には、本校の教育活動に対し、温かいご理解とご協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

山鹿中通信 文責 工

仲間とともに過ごした様々な思いが刻み込まれた、かけがえのない三年間の重みが詰まっている卒業証書を手にしたその表情から、未来への希望と決意が伝わってきました。この一年間、伝統ある山鹿中学校の最上級生として、卒業生の活躍は本当に素晴らしく、新たな「つながり」を創造するものでした。行事の度に胸が熱く、心が震える姿がたくさんありました。これから新しい環境での挑戦が始まります。変化は誰にとっても不安なものです。しかし、その中には大きな成長や新しい可能性が待っていることも事実です。失敗は成長の一部です。失敗を恐れず、新しい挑

先輩方は、私たちの憧れでした。年齢が一つ違うだけなのにどれほどその背中が大きくみえたことでしょうか。新しいものを作り出そうと失敗を恐れずにチャレンジされる姿は本当にかっこ良かったです。生徒会スローガン「つなぐ」を大切にし、そんな山鹿中学校を創ってくださった先輩方。伝統と目には見えない「心」の部分も私たち在校生が引き継いでいきます。誰もが誇りに思える学校をつくるために精一杯努力します。先輩方ならどんな壁も乗り越えることができると確信しています。先輩方と『つながっている』私たち在校生一同、精一杯のエールを送り続けます。

【送辞】

